

# まちの

精華町の財政状況公表資料(予算篇)

平成29年度  
予算の  
あらまし

# 羅針盤



## もくじ

予算のおはなし	1~2
一般会計歳出予算の内訳	3~4
一般会計歳入予算の内訳	5
町民一人あたりでみる今年の予算	6
平成29年度の主な事業	7~16
近年の推移	17~18



ふるさとは ここ精華町と 誇れるまち

◆平成29年度予算の特徴

魅力発進、3つのSeika加速型予算 ～ Safety・Smile・Science ～

○大型事業の予算額

精華町地域創生関連事業…………… 約0.6億円	小規模保育施設開設補助…………… 約0.5億円
狛田駅東特定土地区画整理事業…… 約2.3億円	防災行政無線整備事業…………… 約2.0億円
新公共交通システム導入事業………… 約0.4億円	新クリーンセンター建設負担金………… 約7.4億円
地域福祉センター長寿命化事業…… 約1.0億円	集会所建設事業…………… 約0.5億円
「科学のまちの子どもたち」 プロジェクト拠点整備…………… 約0.3億円※	教育環境整備事業(中学校空調整備) …… 約3.0億円※

※平成28年度補正に前倒し計上し平成29年度に繰り越した上で実施するため、平成29年度当初予算には含まれていません。

各特別会計の予算額

後期高齢者医療  
特別会計  
4億113万円

前年度比  
9.2%  
UP

京都府後期高齢者医療広域連合に代わり後期高齢者医療制度の被保険者に対する保険料を徴収し広域連合へ納付する費用などにかかる収支を、一般会計と同じ公会計方式で経理しています。

国民健康保険事業  
特別会計  
41億1,262万円

前年度比  
0.5%  
UP

国民健康保険の運営(被保険者に対する国民健康保険税の収納や保険給付費など)にかかる収支を、一般会計と同じ公会計方式で経理しています。

公共下水道事業  
特別会計  
19億4,733万円

前年度比  
8.1%  
DOWN

公共下水道としての汚水の処理や処理施設の整備と管理、また雨水の排水施設の整備と管理などの運営にかかる収支を、一般会計と同じ公会計方式で経理しています。

介護保険事業  
特別会計  
28億7,530万円

前年度比  
12.3%  
UP

介護保険の運営(被保険者に対する保険料の収納や介護給付費など)にかかる収支を、一般会計と同じ公会計方式で経理しています。

水道事業  
特別会計  
14億1,806万円

前年度比  
12.9%  
DOWN

水道の給水にかかる施設整備や管理などの運営にかかる収支を、企業会計方式で経理しています。

国民健康保険病院事業  
特別会計  
1億4,808万円

前年度比  
1.9%  
UP

精華町国民健康保険病院の施設管理にかかる収支を、企業会計方式で経理しています。



平成29年度は、次の3つの方針を掲げた予算編成となりました!



防災減災対策のハード的安全対策や子育て教育環境整備などソフトの安心対策を盛り込んだまちづくり

「住んでみたい・住んでよかった」「訪れたい・訪れてよかった」と誰もが笑顔になれるまちづくり

地域創生の取り組みによって学研都市ブランドの新たな価値を創造するまちづくり

総額 246億1,252万円

一般会計 137億1,000万円

町民の暮らしやまちづくりに必要となる、基本的な行政サービスを行うための会計です。

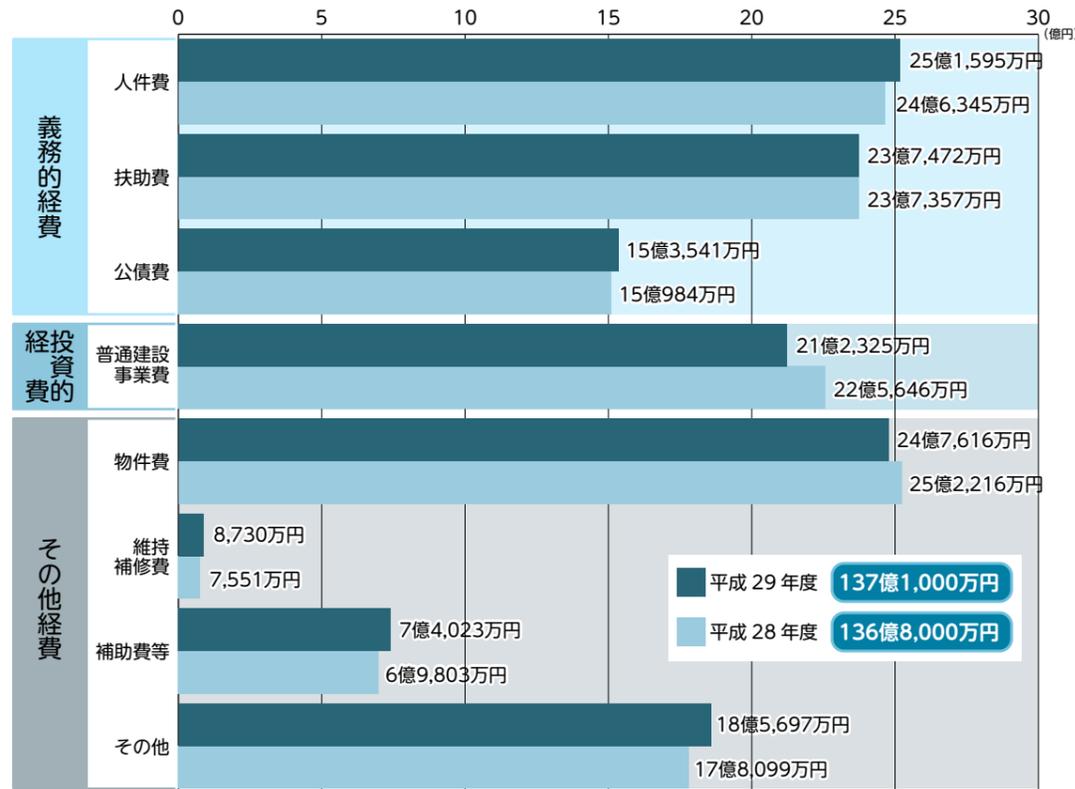


特別会計 109億252万円

特定の目的のための会計で、収支を明確にするために、一般会計とは分けてその収入・支出を経理しているものです。精華町には6つの特別会計があります。



予算は、さまざまな角度から分析することができます。  
 支出を、人件費や物件費などの性質ごとに集計したのがこのグラフです。  
 近年、増加が続いてきた扶助費は、今年度も多くの割合を占めています。  
 また、普通建設事業費では、消防庁舎建替工事の完成などによる減額がある一方、防災行政無線設置工事や集会所建替工事などの事業費が新たに計上されています。

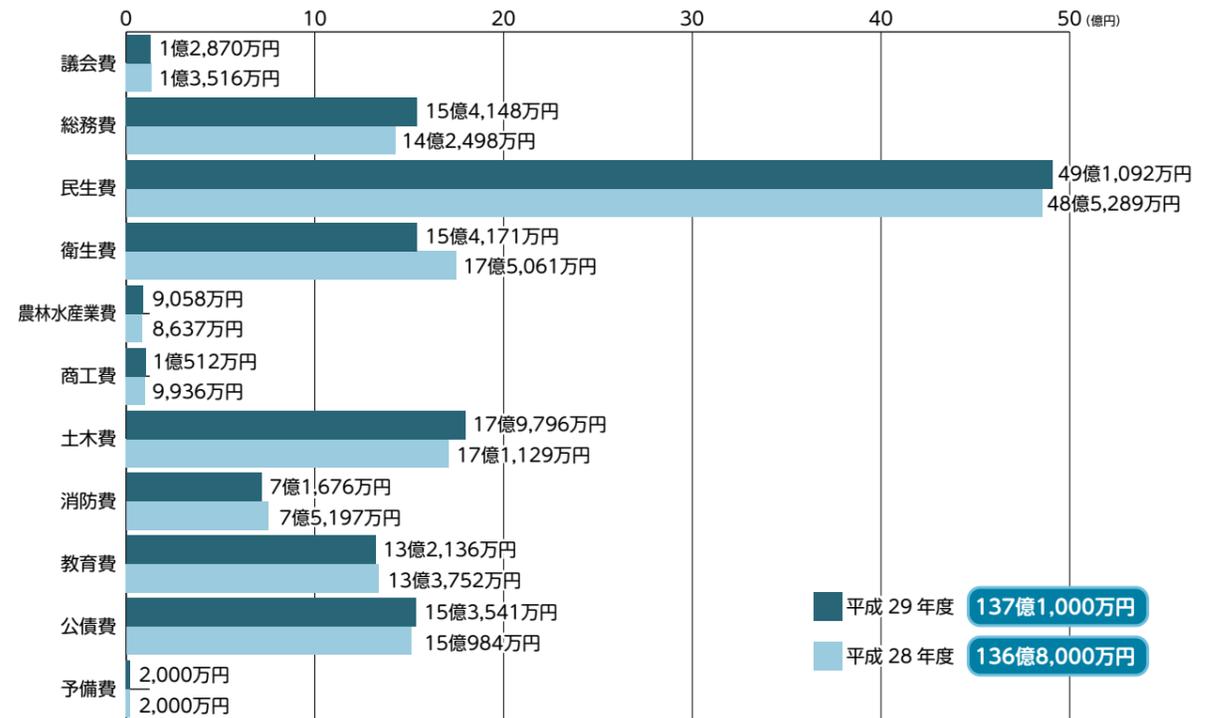


義務的経費	支出の義務付けが強く、町が任意で減らすことのできない経費です。
人件費	職員の給料や各種委員への報酬などに要する経費です。
扶助費	児童手当、乳幼児・高齢者・障害者などの福祉サービスに要する経費です。
公債費	事業を行うために町が借り入れた借金の返済金です。
投資的経費	事業の効果が、公共施設や都市基盤などの形で将来まで残るものに要する経費です。
普通建設事業費	道路や学校などの建設や大規模改修、都市基盤の整備などに要する経費です。
その他経費	その他の経費です。
物件費	光熱水費、消耗品費などの事務経費やさまざまな委託費などです。
維持補修費	施設の維持管理のための経費です。
補助費等	個人や団体などに助成する補助金や一部事務組合などに対する負担金などです。
その他	積立金、貸付金、予備費、繰出金等の経費です。

## 一般会計歳出予算の内訳



一般会計の予算について、さらに詳しく確認していきましょう。  
 まずは、精華町のお金がどんな目的のために使われるかを集計したのが下のグラフです。  
 例年と同様、民生費が最も大きく全体の約1/3を占めており、社会保障関係経費の伸びなどによって増加しています。  
 総務費も前年度と比べ増加しており、集会所の建替えや地域創生事業の実施が主な増加要因となっています。



議会費	町議会の運営に要する経費です。
総務費	町の全般的な管理経費や地域振興などの各種イベントの開催経費、選挙などの経費です。
民生費	高齢者、障害者、児童福祉など、住民福祉の増進に要する経費です。
衛生費	健康診断や予防接種などの保健衛生関係、ごみ処理などの環境衛生関係の経費です。
農林水産業費	農業の振興、農地改良などに要する経費です。
商工費	商工業や、観光振興などに要する経費です。
土木費	道路や河川の改良・維持管理に要する経費のほか、区画整理や都市計画のための経費です。
消防費	住民の生命や財産を守るための救急活動や消防活動のための経費です。
教育費	学校教育や生涯学習、生涯スポーツ、文化財保護などに要する経費や、図書館運営に要する経費です。
公債費	事業を行うために町が借り入れた借金の返済金です。
予備費	緊急に支出を必要とする場合に備えた経費です。

※本書に記載している数値は、四捨五入を行っているため、内訳と合計額が合致しない場合があります。



続いて、町民一人あたりの町税負担の状況を確認しましょう。

※金額は、平成29年度予算額を平成29年4月1日現在の精華町総人口で割ったものです。

$$\left( \frac{\text{平成29年度予算}}{\text{平成28年度予算}} \times 100 \right) - 100$$

増減率(%)

個人町民税

59,745円

納税義務者数で割ると…  
127,665円

1.3%  
DOWN

平成28年度… 60,549円

法人町民税

7,631円

納税義務者数で割ると…  
476,093円

48.1%  
UP

平成28年度… 5,152円

軽自動車税

1,483円

3.8%  
UP

平成28年度… 1,429円

固定資産税

60,824円

納税義務者数で割ると…  
153,041円

2.2%  
UP

平成28年度… 59,491円

町たばこ税

2,595円

2.1%  
UP

平成28年度… 2,542円

都市計画税

9,896円

納税義務者数で割ると…  
29,607円

1.8%  
UP

平成28年度… 9,722円

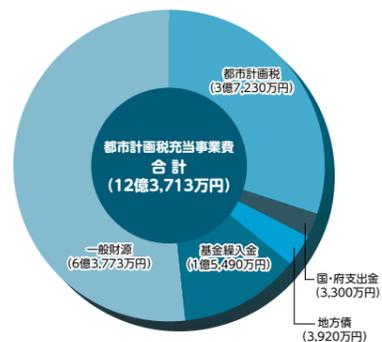
平成29年度の都市計画税は、こんな事業に使う予定です。

	平成29年度 事業費	平成29年度 充当予定額
狛田駅東特定土地区画整理事業	22,768	5,259
都市計画事業充当地方債償還金	15,667	10,467
公共下水道事業(一般会計からの繰入金)	85,278	21,504
合計	123,713	37,230

都市計画税の使いみち

都市計画税は、快適で住みよい街づくりのために、都市計画事業や土地区画整理事業を行う費用の一部(その事業のために発行した地方債の償還金を含む)にあてるための目的税として課税される税金です。都市計画税は、都市計画道路などの交通施設、下水道、公園といった都市施設の整備を推進するうえで重要な財源となっています。

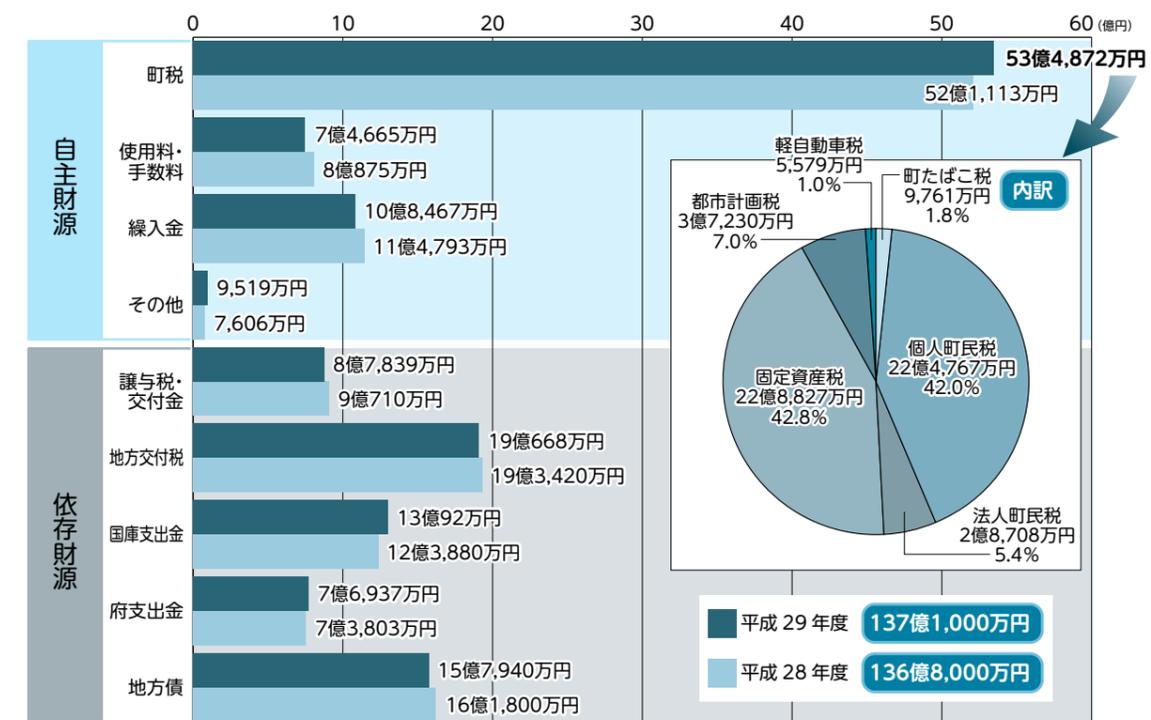
都市計画税充当事業の財源内訳



一般会計歳入予算の内訳

次に歳入予算の内訳を確認しましょう。  
町の収入は、町税が最も大きく全体の約4割を占めています。このほかにも、地方交付税や、国庫・府支出金、地方債など町の収入にはさまざまなものがあります。

また、町の収入は、自主財源と依存財源に分かれています。自主財源が大きいほど、財政の自立性が高いと言えます。



自主財源	町が自主的に調達する収入です。
町税	みなさまから精華町に納めていただく税金です。
使用料・手数料	町の施設の利用や証明書を発行する際にいただいているお金です。
繰入金	特別会計や基金などから入ってくるお金です。
その他	寄附金、不動産の売り払いなどの財産収入、前年度からの繰越金などです。
依存財源	国や京都府などを通じて得られる収入です。
譲与税・交付金	自動車重量譲与税、地方揮発油譲与税、利子割交付金、地方消費税交付金などです。
地方交付税	国が徴収する税金(所得税・法人税・酒税・消費税・地方法人税)の中から町の財政需要などに応じて交付されるお金です。
国庫支出金	国からの補助金や負担金です。
府支出金	京都府からの補助金や負担金です。
地方債	銀行などからの借入れ(借金)です。

### 3節 産業

平成29年度をターゲットイヤーとして京都府南部一帯で開催される「お茶の京都」や「ツアー・オブ・ジャパン京都ステージ」を活用して精華町への観光入込客の拡大を図り、**まちの魅力発信と活力創造の取り組みを加速します。**

農業分野においては、中核的担い手の育成を図り、農地の利用集積の推進や青年層の新規就農者に対する支援を行います。また、町内農産物を学校給食に供給することによる地産地消の推進や、新商品の研究・開発のための活動支援や販路拡大を図ることで農業の振興に努めます。

商工分野においては、商工会への運営やプレミアム商品券発行事業への継続助成や、中小商工業者の経営安定のために融資制度利用者の保証料・利子補給を継続するなど、町内商工業の振興を図ります。



ツアー・オブ・ジャパン京都ステージ

### 4節 まちなみ

町北部の玄関口として整備を進めてきた**狛田駅東特定土地区画整理事業**が、いよいよ事業完了に向けて加速します。駅へのアクセス道路や公園整備を行い、換地処分に向けた法手続きなどを進めます。換地処分後は、町名地番住居表示審議会での審議を経て新たな町名地番を設定します。

**菅井西・植田南整備事業**に取り組み、学研地区のエントランスゾーンとして良好な市街地整備を実施する土地区画整理事業の再事業化に向けて、基本設計や事業計画書を作成し土地区画整理組合の発足を目指します。

自然の豊かさが感じられるまちなみを目指し、広く地域や住民に親しまれ、自然の恵みや姿かたちを体感できる憩いの場となる里山の保全活動を引き続き進めます。



狛田駅前広場

一絡がうれしい  
On Your Side

みなさまのすぐとなり京都中央信用金庫がいます。

京都中央信用金庫  
精華支店

JR祝園駅西300m  
☎0774(93)1321  
FAX0774(93)1124

ナント・なら・ずっと!

NANTO 南都銀行

精華支店  
☎0774 (94) 2580

## 平成29年度の主な事業



平成29年度に実施される主な事業を、第5次総合計画の施策の体系に沿って確認しましょう。



(新) …新規事業

## 1章 活力あふれ魅力ある学研都市のまちづくり

### 1節 けいはんな学研都市

けいはんな学研都市の中心地、精華町の魅力・活力の創造に向けた取り組みを進めます。開催2年目を迎える「ツアー・オブ・ジャパン京都ステージ」や、「せいか祭り」・「SEIKA サブカルフェスタ」を開催し、この機を活用して精華町の魅力発信、活力創造、誘客拡大に繋げる取り組みを発進します。



せいか祭り

けいはんな学研都市活性化促進協議会・学研三市町行政連絡会などの学研都市運営に引き続き参画し、学研都市の中心自治体として積極的に関わっていきます。

引き続き**企業誘致促進事業**に取り組み、職住近接による雇用機会の創出と税財源の強化に加え、先進的研究開発の推進拠点として多業種が集積する「サイエンスタウン」としての可能性を最大限に活用して、精華町の魅力・活力の創造への動きを加速していきます。

### 2節 地方創生

精華町地域創生戦略に基づき、「学研都市精華町」の都市ブランドを確立し、「精華町の魅力発信」シティプロモーション」を推進して地域創生に取り組みます。**(新) 京都アカデミック産業創造事業**として、サブカルチャー振興を図り、大学機関との連携で若者のための新たな仕事創出やクリエイターの創作活動を支援し、精華町の新たな魅力づくりに取り組みます。**(新)「今だけ、ここだけ、貴方だけ観光推進事業」**として、観光農業の再生、いちごを活用した体験型観光農園の支援、「洛いも」の観光商品化支援など、地元産品・観光ブランド力強化による精華町の新たな魅力づくりに向け発進します。



京都精華大学との連携協力包括協定

## 2章 安全・安心で健やかな暮らしのまちづくり

### 1節 健康・医療

健康で笑顔あふれる「スマイルタウン」に向けて、「笑顔・さええあい・健やか、元気なまち せいか」をキャッチフレーズにした、**(新) 第二期健康増進計画の中間見直しを実施するとともに、(新) 第三次食育基本方針の策定**を行います。また、これを受けて「食」と「歩く」を重点活動方針としている「せいか365」運動の継続展開とせいか365広報キャラクター「いっちー」の有効的な活用により、健康づくり運動のめざす「毎日が笑顔になれるように、みんなで支えあう元気なまち」の実践に努めます。



食育活動

病予予防では、健康増進法等に基づき各種の健診（検診）事業を実施するとともに、がん検診の未受診者に対する受診勧奨・再勧奨に加え、個別検診の実施による受診機会の拡大や、子宮がんの自己負担額引き下げを実施するなど、受診率向上に向けた取り組みを実施します。

子どもを産み、育てやすい安心のまちづくりを推進するため、妊婦健診公費負担、不妊治療や不育治療等に要する経費助成、未熟児養育医療費助成などの継続事業に加え、切れ目のないサポートにより安心して出産・育児を行っていただけるよう**(新) 産前・産後サポート事業を実施します。**

また、予防接種法に基づき、伝染病や感染症の蔓延防止のため実施する各種予防接種では、昨年10月から引き続きB型肝炎を接種対象としています。

安心して医療を受けられるよう、国民健康保険事業特別会計や後期高齢者医療特別会計の安定した運営を行うとともに、国民健康保険病院事業や、相楽休日応急診療所の運営に関する費用負担を行います。

### 2節 児童福祉

「精華町児童育成計画・精華町子ども・子育て支援事業計画」に基づき「子どもと家庭、地域はひとつ!にこにこ子育て、すくすく精華」をキャッチフレーズに、笑顔で安心して子育てのできる「スマイルタウン」に向けた各種事業を展開していきます。

保育に対する社会的な需要が高まっていることを受け、**(新) 小規模保育施設の開設のための補助を行います。**

また、「子育て短期支援事業」や「病児・病後児保育事業」、「ファミリー・サポート・センター事業」の継続実施で多様な保育ニーズに対応し、保育・地域の子ども・子育て支援の総合的な推進を図ります。多子世帯については、第三子以降の保育料及び子育て用品貸与の一部無償化による支援を継続して実施します。



保育所での風景

また、保育所運営委託費や保育所賃金、放課後児童対策については、関係経費の予算を増額することで利用児童数の増加等に対応します。

さらに、相談件数等が増加傾向にある児童虐待案件の早期発見・早期対応に努めるために専門相談員を継続配置するなどセーフティネットの強化に努め、虐待防止に向けた普及啓発活動等の実施や関係機関等との連携で、地域がひとつになった安心の見守り体制の充実を図ります。

### 5節 道路・公共交通

主要幹線や生活道路の整備を図り通学路の安全確保や生活基盤の拡充に努め、他方でこれまでに整備してきたインフラを含む公共施設等老朽化対策として、橋りょう点検の実施や山田川駅前広場など各路線の道路舗装改良工事を行い、老朽化に起因する事故等の事前予防・セーフティー対策を実施します。また、クリーンパートナー制度を活用した住民との協働による維持管理体制の充実にも努めます。

順次、計画的に実施し維持管理コストの節減に高い効果を発揮している道路照明LED化整備事業に引き続き取り組みます。

公共交通については、高齢者や交通弱者の移動手段として重要な役割を果たすコミュニティバスの運行を継続します。

企業進出が相次ぎ「サイエンスタウン」として成長が進むなか、まちの拠点である祝園駅から進出企業の集積する学研精華・西木津地区間の輸送力が課題となっており、**輸送力強化のための新公共交通システム（連節バス）導入にかかる駅前広場の改修**を進め、公共交通網の充実を図ります。



連節バス（写真は試走時のものです）

### 6節 住環境

あらゆる人が暮らしやすい安心のまちづくりの実現のために、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づき、**(新) 鉄道駅移動円滑化施設整備事業**として、平成29年度に予定されている近鉄新祝園駅の内方線整備バリアフリー化に係る補助を行います。

地震災害に強い「セーフティータウン」を目指し、**(新) 精華町建築物耐震改修促進計画を更新策定し、新たに耐震シェルター設置助成を行い、木造住宅耐震診断士派遣事業や耐震改修工事助成も引き続き行います。**

全国的な課題にもなっている空き家対策について、**(新) 空き家対策事業**として、町内での実態調査と空き家の状態を把握するための調査業務を実施します。

公共下水道の汚水事業では、公共下水道未整備地区の幹線管渠の整備や面的整備を進め快適な生活環境の確保と公共用水域の水質保全のために未整備地区の整備を行います。

また、**公共下水道事業特別会計への公営企業法の適用に向けて、引き続き移行作業を進めます。**

上水道事業は、拡張整備の時代から維持管理時代へと段階的に移行している途上にあり、水道事業中長期財政計画を柱として安定的かつ安全な水道事業経営を図ります。



耐震シェルター設置による効果

### 5節 防災・交通安全

災害に強い「セーフティータウン」を目指して設計業務に着手していた**防災行政無線の整備について、平成 29 年度は本体工事に着手し、平成 30 年度の完成を目指して取り組みます。**なお、本事業の実施にあたっては、消防庁舎建替事業に引き続き防衛省から事業財源にご支援をいただき事業化するものです。

また、地域の安全・安心を支える消防団の拠点整備として、**老朽化した第三分団第三部消防ポンプ庫を改築するための設計業務及び本体工事を実施します。**

近年の集中豪雨による浸水被害箇所の疎通能力を高め浸水被害を防止するため、**滝ノ鼻地区及び東畑地区の排水路整備工事**や公共下水道事業特別会計による九百石川雨水路整備工事を実施します。

交通安全にかかるセーフティー対策の取り組みとしては、引き続き各種啓発活動や交通安全施設の維持管理を行うとともに、生活道路における歩行者等の安全な通行を確保することを目的として、区域ゾーンを定めて最高速度 30 キロメートル毎時の速度規制を実施する**(新)「ゾーン30」の路面表示を桜が丘地区で行います。**

環境負荷軽減及びライフサイクルコストの削減を目的とした町内交通安全灯の全 LED 化を4年目として取り組みます。



建替え前の消防団第三分団第三部消防ポンプ庫



「ゾーン30」の路面標示

## 3章 未来をひらく文化と環境のまちづくり

### 1節 学校教育

「子どもが輝き 生涯いきいき 人をはぐくむ 学研都市精華町」を基本目標に据えた教育大綱に基づいた質の高い教育行政を目指します。

平成 28 年度予算に国の経済対策補正予算による事業採択を受けて前倒し計上した中学校空調整備を平成 29 年度に繰越しのうえ実施し、小学校空調整備に向けては国の交付金の動向を踏まえつつ平成 30 年度の事業実施を見据えて、引き続き財源確保に努めるなど、教育の質を高める環境づくりに向けて加速します。

公共施設等老朽化対策という予算編成の基本的考え方に基づくセーフティー対策として、公共施設の大半を占める小中学校施設のなかでも建設年度の古い精華南中学校の屋内運動場防水改修工事やプール塗装改修工事を実施し適正保全に努めます。また、小中学校に設置している AED の更新や川西小学校のコンピュータ機器更新を行い教育施設環境の維持改善を行います。

食育推進や中学校給食導入を目的として、平成 28 年度に実施した基礎調査を基に、**学校給食の基本構想を策定します。**

発達障害児や肢体不自由児など学校生活での支援を要する児童・生徒の教育環境確保のための特別支援員や介助員の継続配置、いじめや不登校など今日的な教育現場での問題を未然に防

### 3節 高齢・障害福祉

「いくつになってもにっこり笑顔 仲間とともに 元気に暮らせる 精華町」という「スマイルタウン」の基本理念を目指した高齢福祉施策を展開し、居宅生活支援や、高齢者の健康づくり・介護予防の推進と高齢期の社会参画を支援します。また、社会福祉法人精華町社会福祉協議会、老人クラブや公益社団法人精華町シルバー人材センターへの運営助成、長寿を祝福する敬老会を継続実施します。

障害のある人が自立した日常生活を笑顔で安心して送ることができるように必要な障害福祉サービスや給付を提供し、社会参加活動を支援することで地域での暮らしと社会参加の促進を図ります。**(新) 障害福祉計画が3年ごとの更新の時期にあたることから、生活支援サービスや一般就労等についてサービスの数値目標と実現化方策を定めていきます。**

また、障害者差別解消法の施行に伴う合理的配慮の一環として、町主催行事への手話通訳・要約筆記の設置を行います。

また、高齢者の医療費助成事業、自立支援給付事業、地域生活支援事業や介護保険事業特別会計への繰出金など増加する社会保障関係経費についてもセーフティネット予算として堅実に確保しました。

平成 30 年度から実施される次期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に向け、継続して取り組みます。



敬老会

### 4節 コミュニティー・地域福祉

地域コミュニティの活動拠点、かつ、災害時一次避難拠点でありながら、**旧耐震基準建物である中自治会集会所を、地域力強化、防災機能強化・老朽化対応というセーフティー対策のために建替工事を実施します。**

築後 20 年が経過して老朽化の進む**地域福祉センター「かしのき苑」については、老朽化対策として長寿命化工事を順次実施しており、平成 29 年度は、施設のバリアフリー化を中心に安心の福祉拠点としてリノベーションを進めます。**

高齢者や障害のある人などが住み慣れた地域で安心して暮らせる仕組みづくりを構築し、地域福祉計画に基づいた身近な相談・拠点づくりを確立するため、「地域支え合い体制づくり事業」として各種事業を展開します。

自立した地域づくりと住民主体のまちづくりを目指し、各小中学校区の地域課題に応じた事業展開や組織づくりを支援するため、中学校区の住民組織団体を育成します。

また、福祉人材・ボランティアの育成や、民生・児童委員の活動支援に引き続き取り組みます。



ふれあいまつり



建替え前の中自治会集会所

#### 4節 環境共生

稼働後 30 年以上が経過し、老朽化が著しい打越台環境センターに代わる施設として建設が進められている、**新クリーンセンター建設に係る応分の町負担金を支出し、廃棄物の適正な処理を引き続き図っていきます。**



建設中の新クリーンセンター

環境施策の柱となる環境基本計画の環境像を目指し、環境問題に関する意識高揚に向けた環境イベントや、全国で表彰を受けるなど好評を博した環境日記の取り組みを、町内小学生を対象に身近な環境に関心を持ってもらえるよう継続して進めます。

学研地区内に進出・立地する企業等に対しては、専門的見地による支援を受けながら環境保全に関する安全性の確認を行い、環境の保全に努めます。



打ち水大作戦

**(新)住宅におけるエネルギー供給の自立化や地球温暖化防止を促進するため、住宅用太陽光発電設備及び蓄電設備の同時設置による費用助成を行います。**

#### 5節 情報化

地域創生戦略の「“精華町の魅力発信” シティプロモーション」のけん引役として、広報キャラクター「京町セイカ」を効果的に活用し、「サイエンスタウン」精華町の知名度向上や誘客拡大に向けた情報発信を加速します。



住民情報の保全や行政事務など地方自治体業務全体の基盤となる情報処理ネットワークシステムの高度かつ安定的な運用を万全なセキュリティ対策の下に行います。また、府内市町村に共通する住民記録・税業務系及び新規に導入した福祉系の基幹業務支援システムによって府内市町村共通化のメリットを活かした効率的な運用を行います。

町の「情報発信基地」かつ「情報収集基地」である町立図書館について、利用しやすい環境整備や図書の充実など魅力ある図書館として運営を行います。

なが——い、おつきあい。

- 貯める 借り入れる 運用する
- 備える 積み立てる 管理する

京都銀行はさまざまなシーンで皆様を応援します。

飾らない銀行 精華町支店  
 京都銀行 精華町支店 TEL.0774(93)2300

JA京都やましろ 精華町支店

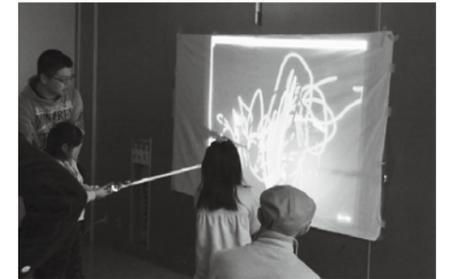
便利で安心! JAバンク

精華町祝園駅西1丁目3 1-5

TEL 0774-94-2103  
 FAX 0774-94-5739

止するためのスクールカウンセラーの継続配置、学校図書館司書の継続配置などによって、命を守り、人権を大切に、未来を生き抜く子どもの育成に努めます。また、コミュニティスクール推進事業などを通じて、学校・家庭・地域が笑顔で繋がる一体的な教育推進を図ります。

幼稚園教育の振興と保護者の経済的負担軽減のため幼稚園就園奨励費を交付し、また、第三子以降の子が幼稚園に通園している場合はさらに拡充した負担軽減を図り、多子世帯の経済的安定に寄与します。



科学のまちの子どもたちプロジェクト

また、学研都市という最先端の科学と文化が集積する「サイエンスタウン」ならではの豊富な教育資源を活かした特色ある教育機会を提供するため、**「科学のまちの子どもたち」プロジェクトを推進します。**

#### 2節 生涯学習

家庭や地域社会の教育力の向上、文化の振興など、生涯学習社会の実現に向けた各種事業を展開し、生涯学習を通じてより豊かで笑顔あふれる生活を過ごせるような学習機会を提供していきます。



住民がスポーツをする機会を提供することで健康増進と相互交流を図り、スポーツ振興とスポーツライフ・スマイルライフの実現を目指します。また、スポーツ機会を提供する拠点である町体育施設を引き

続き NPO 法人精華町体育協会を指定管理者として運営するとともに、**(新)平成 30 年度以降は、指定管理者を選定するための選定委員会関係経費や次期指定期間の運営経費としての債務負担行為を設定しています。**施設設置者としての責任においては、利用者の安全確保のため、老朽化した設備の修繕や**(新)むくのきセンター昇降機の防火区画対応工事のための設計業務を実施します。**

指定文化財の保護や、古文書・歴史資料、民俗文化財、埋蔵文化財など保存と活用を図るとともに、地域創生戦略に基づき創設したデジタルミュージアム「せいか舎」の運用によって、「ふるさととは“ここ(精華町)”と誇れる魅力ある文化の発信を進めます。

#### 3節 人権尊重と男女共同参画

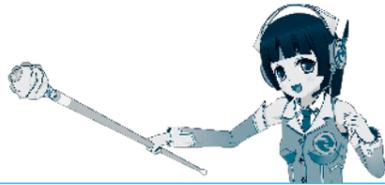
国際的な企業の立地が進む「サイエンスタウン」にふさわしい国際的なまちづくりに対応するため、在住外国人およびインバウンド事業で対象となる外国人を対象とした「町勢要覧パンフレット(外国語版)」を作製し、精華町の魅力を広めます。

平成 28 年度に改定を行った「精華町人権教育・啓発推進計画」に基づき、人権教育・啓発の推進に関する各種事業を実施します。また、第 2 次男女共同参画基本計画に基づき事業推進を図り、男女共同参画のつくり・社会づくり・推進基盤づくりに努め、多様な生き方が選択できる安心のまちを目指します。

☆ふるさとづくり寄附金☆

平成28年度にご寄附いただいた、ふるさとづくり寄附金（ふるさと納税）は以下のとおりでした。寄附いただいた方々にお礼を申し上げるとともに、ご意向に沿って事業に活用させていただきます。

- ◆子どもを育むまちづくりに関する事業のため：0.5万円
- ◆産業活性化のまちづくりに関する事業のため：5万円
- ◆その他町長が必要と認める事業のため：210万円



☆防衛省からの補助金を受けて実施する事業☆

精華町には祝園弾薬庫が町内に立地しているため、防衛省からの補助金が交付されています。精華町では、この交付金を活用して様々な事業を実施しています。

◆特定防衛施設周辺整備調整交付金を受けて実施する事業 (単位:万円)

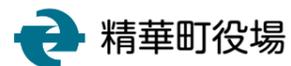
事業名	事業費	事業名	事業費	事業名	事業費
公用車管理事業 (防犯パトロール車更新)	111	集会所建設事業 (中集会所建替業務)	4,704	交通安全灯LED化整備事業	2,000
道路照明LED化整備事業	1,000	排水路整備事業 (滝ノ鼻地区排水路整備工事)	1,500	小学校教育振興関係経費 (コンピュータ教室機器更新)	700
いじめ等対策事業 (スクールカウンセラー配置)	445	事務局一般事務経費 (学校図書館司書配置)	270	特定防衛施設周辺整備調整交付金 事業基金積立	1,500

◆民生安定施設整備事業交付金を受けて実施する事業 (単位:万円)

事業名	事業費
防災行政無線整備事業	19,800

一度基金に積み立てた上で、  
後年度の学級支援員配置事業の  
財源として、活用します。

本紙への広告掲載の  
お問い合わせ先



精華町役場  
総務部 財政課  
☎ 0774-95-1914

医療法人 社団 医聖会  
学研都市病院  
TEL.0774-98-2123

整形外科・一般内科・消化器科・循環器科・呼吸器科・外科・小児科・脳神経外科・泌尿器科・眼科・リハビリテーション科・皮膚科・放射線科・脊椎・脊髄センター・健診センター・人口透析センター  
診療時間 AM9:00~12:00 ※救急告示病院  
休診日 日・祝日/年末年始(12/31~1/3)



富士ゼロックスシステムサービスは  
IT化する自治体様を強力サポート。  
さらなる住民サービス向上を目指します。

富士ゼロックスシステムサービス株式会社  
営業本部 公共システム営業事業部 関西支店  
TEL 06-6225-0390 9:00-17:30

4章 自立を目指した協働のまちづくり

1節 住民協働

地域公共人材の育成や公共的活動支援を通して、協働による住民主体のまちづくりのできる自立した魅力あるまちを目指して、「せいかまちづくり塾」の継続開催や、きれいなまちづくり運動推進協議会による「花いっぱい運動」などの展開を支援します。

また、住民自治の最小単位である自治会の活動に対する財政支援を行います。



きれいなまちづくり運動

2節 行財政運営

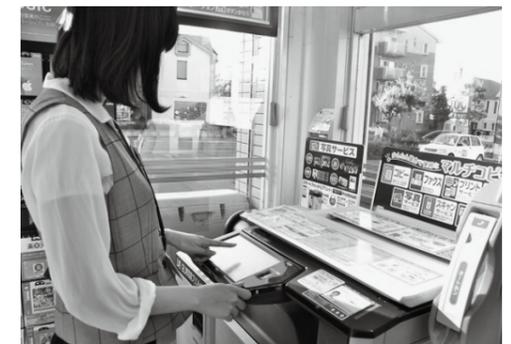
また、行政機能・防災・まちづくりの拠点である庁舎について、公共施設等老朽化対策という予算編成の考え方に基き予防保全的に長寿命化を図り、かつ、4階の利活用を含めてまちの魅力拠点としてのリノベーションを目指して利活用基本計画の策定に取り組みます(庁舎長寿命化利活用検討事業)。

平成28年1月から導入された社会保障・税番号制度について、マイナンバーカードの交付等を円滑に実施するとともに、平成28年度から開始したマイナンバーカードによる証明書コンビニ交付サービスと併せて周知することで、マイナンバーカードの普及促進と住民の利便性の向上を目指します。

地方自治体の会計制度については、資産債務の適切な把握や将来の更新投資を的確に推計して公共施設等老朽化対策に繋げるため大きな変革期にあります。一般会計では平成28年度中に稼働した日々仕訳による複式簿記化を浸透させ総務省の示す統一した基準による財務書類の作成に向けて取り組みます。

平成29年度は、町の中長期的な将来像とそれに向けた町政運営の方針を明らかにした最上位計画となる「第5次総合計画」の中間年度にあたることから、前年度に実施した住民意識調査の結果も踏まえ中間進捗管理総括を実施します。

最後に、町が実施する事業内容及び決算内容については、総合計画の体系に基づいた施策と事務事業の2階層による行政評価を実施したうえで、「主要な施策の成果を説明する書類」(地方自治法第233条第5項)としてわかりやすく公表していきます。



コンビニ交付サービス

最後に町の人口の推移から今後を考えてみましょう。



平成20年度から平成29年度の10年間の精華町の人口の推移を見ると、増加の傾向が続いていることがわかります。国全体の人口は平成23年度以降減少が続いている中で、精華町は依然成長を続けていることがこのことから確認できます。

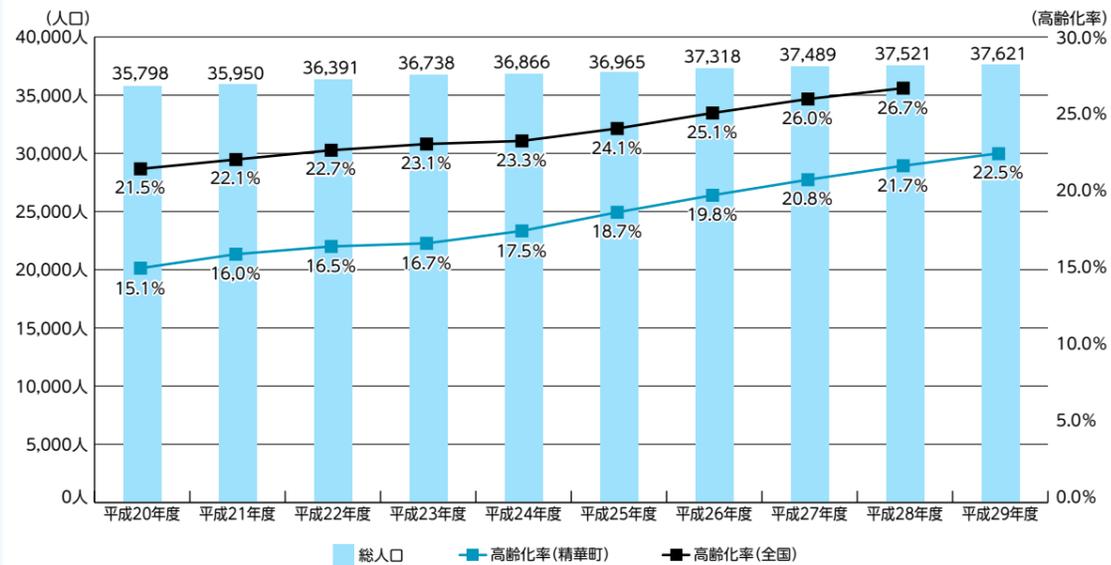
一方その内訳を見ると、65歳以上の占める割合である高齢化率が大きく伸びており、国全体と比較すると6%ほど低いものの、本町においても少子高齢化が進行していることがわかります。

今後、少子高齢化が進行し続けると、町の財政にはどのような問題が起こるのでしょうか。

1つは、医療費や介護サービスなどの社会保障経費が増大することで、他の目的のために使える予算が減少してしまうことが懸念されます。

もう1つは、支える側である「生産年齢人口(15歳以上65歳未満)」の減少に伴い、所得に応じて課税される個人町民税が減少となることで、町の収入が減少する恐れもあります。

### 精華町人口と高齢化率の推移



これらの問題について、精華町ではさまざまな取組みを進めています。

町の収入については、これまでから行ってきた企業誘致の取組みにより、大型の企業立地が決定するなど大きな成果が出つつあります。特に、企業から納税していただく固定資産税は、景気や企業収益の影響を受けにくい安定的な財源と言えます。

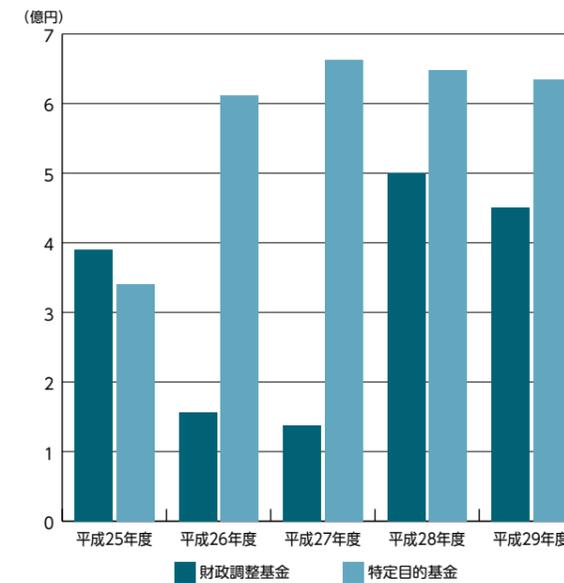
また、増加傾向にある社会保障経費については、健康長寿のまちづくりに向けた「せいか365」プロジェクトの取組みを行っています。生活習慣病や介護の予防、健康寿命の延伸は、社会保障経費の伸びの抑制の面だけでなく、笑顔でつながり地域で支えあいながら健やかで元気に満ちた地域社会を実現するために非常に重要な取組みです。

全国的な課題である少子高齢化を町単独で解決することは容易ではありませんが、これらの取組みを継続的に進めることで、健全で持続可能な財政運営に努めていきます。

歳入には、町税や国・京都府からの支出金のほかに、基金(貯金)の取崩しや地方債(借金)の発行によるものもあります。いずれも事業を行う上での貴重な財源ですが、計画的な運用が必要になります。近年の推移を確認しましょう。



### 基金繰入額の推移 (一般会計・当初予算)

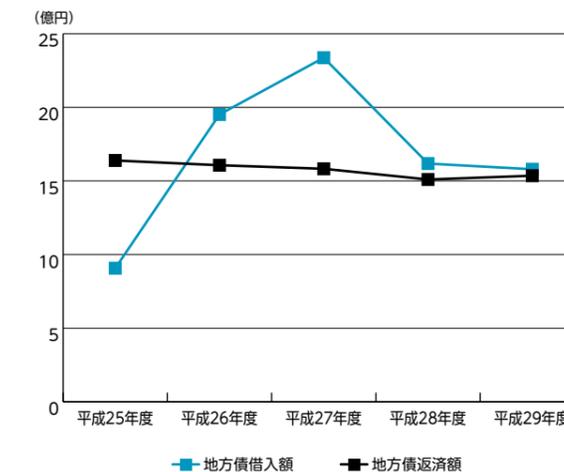


町は、財源不足への対応や特定の事業を行うために必要なお金を、あらかじめ基金(貯金)として準備しています。基金には大きく財政調整基金と特定目的基金の2つがあります。

特定目的基金とは、大規模な事業等のために、あらかじめ必要となるお金を積み立てておくものです。近年は、学校や消防庁舎、新クリーンセンターなどの建設に伴い、特定目的基金の繰入額(取崩額)が大きくなっています。

一方、財政調整基金は年度間の財源調整のために積み立てておくお金で、当初予算における繰入額は、予算編成時点における財源不足額を表しています。近年は、当初予算における財政調整基金の繰入額が大きくなっていますが、過度に財政調整基金に頼りすぎない財政運営が必要です。

### 地方債発行額と返済額の推移 (一般会計・当初予算)



地方債は、公共施設の建設などの特定の目的に限って発行することができる借金です。これは、公共施設は建設後長年に渡って利用されるため、建設時点の世代だけではなく、その施設を利用する将来の世代にも費用を分担していただくことが公平である、という考え方に基づいています。一般の家庭に例えるなら、住宅ローンは認めても普通の生活費を借金で賄うことは認めない、といった考え方です。

ただし、多額の地方債発行は将来世代への過度な負担となってしまうため、自立的で持続可能な財政運営に向け、引き続き行財政改革の推進に努めていきます。

基金や債務の残高については、10月配布予定の「決算のあらまし」でお伝えします。

# 平成29年度『予算のあらまし(まちの羅針盤)』の発行にあたって

新年度を迎え、今年も『予算のあらまし(まちの羅針盤)』を作成いたしました。

さて、平成29年度の予算では、「命を大切に作る安全・安心のまちづくり (Safety Town)」、<sup>セーフティタウン</sup>「将来を見据えた笑顔あふれるまちづくり (Smile Town)」、<sup>スマイルタウン</sup>「学研都市を活用した交流連携のまちづくり (Science Town)」<sup>サイエンスタウン</sup>という、3つの方針を掲げました。

防災行政無線の整備・各公共施設の長寿化・学校へのエアコン設置などの「Safety Town」への取り組み、各種イベントの開催・「科学のまちの子どもたち」プロジェクトの推進・けいはんなオープンイノベーションセンターを活用した活動拠点整備などの「Smile Town」の取り組み、さらに、連節バスの導入、北陸新幹線の京都府南部への延伸の実現やリニア中央新幹線の誘致活動といった「Science Town」の取り組みを積極的に進めることで、町の魅力づくりに向けた歩みをさらに前へと加速させてまいります。

本町の財政状況は依然厳しいところではありますが、「選択と集中」の考えのもと、日々お支えいただいている皆様に感謝すると共に、町民の皆様のご協力をいただきながら、各施策の実現に向け全力で取り組んでまいります。

今後も、本町が目指します「人を育み未来をひらく学研都市精華町」の実現に向けてまい進し、「ふるさとは“ここ(精華町)”と誇れるまち」を築き上げられるよう、いかなる困難にも立ち向かい、「命と希望を未来につなぐまちづくり」に引き続き取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

平成29年4月

精華町長

木村 要

## まちの羅針盤

### 精華町の財政状況公表資料(予算篇)



- 発行所 … 平成29年4月 精華町役場 総務部 財政課
- 住所 … 〒619-0285 (個別番号)  
京都府相楽郡精華町大字南稻八妻小字北尻70番地
- TEL … 0774-95-1914 (財政課ダイヤルイン)
- FAX … 0774-93-2233
- ホームページアドレス … <http://www.town.seika.kyoto.jp>
- E-mail … [zaisei@town.seika.lg.jp](mailto:zaisei@town.seika.lg.jp)
- 印刷 … 関西美術印刷株式会社